

ひがしよしの

新年あけまして
おめでとうございます
本年も広報ひがしよしのを
よろしく願います



新年のごあいさつ

東吉野村

村長 水本 実



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

昨年は村政に対しまして多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルスですが、国内で感染が初めて確認されてから3年が経過しました。この間、全国で感染拡大の波を繰り返した昨年7月から9月にかけての第7波では爆発的に感染者が増え危機的な状況となりました。

また、コロナ禍の影響が長期化する中、ウクライナ危機を発端とする原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰の影響を踏まえ、村民の皆様が暮

らしにも大きな影響を及ぼしており、村民の皆様や事業者の方への数々の支援事業と感染防止対策に積極的に取り組み、村民の皆様が命と生活を守ることを最優先に取り組んで参りました。

とりわけ、ワクチン接種は村民の皆さまの安全確保に向け極めて重要なことであり、万全の体制で進めて参りました。順調にワクチン接種事業が運びましたことは、これもひとえに、村内の医療機関の先生方、接種業務に関わっていたいただいた看護師の皆様をはじめ、南和広域医療企業団のご支援と共に村民の皆様のご理解とご協力があったからこそ実現できたことであり、全ての関係の皆様が心より感謝申し上げます。

体質や持病がある等の理由で接種できない方や、副反応等のリスクを考えると接種しなかった方もおられることから、接種していない方に対して接種の強制や差別、不利益な取扱いを行うことのないよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さらに、私は、昨年の村長選挙におきまして、村民の皆様の

ご理解ご支援と各方面からの心温まるお励ましを賜り、おかげさまで無投票当選の榮に浴し、引き続き村政を担わせていただくこととなりました。

4期16年にわたり、村民の皆様が温かいご支援とご協力のものと、行財政改革を進め、懸案でありました実質公債費比率の大幅な減少と基金を積み増し、財政状況も回復、財政健全化への道筋をつけることができました。

一方では、人口減少と少子高齢化が激しい勢いで進んでおり、人口は、20年前と比べて半減しました。人口の6割近くが高齢者で、子どもの出生数は、年間3人程度にとどまっています。

このような情勢の中、これまで村の将来を見据え、取り組んでまいりました、クリエイティブヴィレッジ構想や小さな道の駅整備あるいは小川のまちの再生といった、東吉野創生施策の中核となる事業の方向性に道筋をつけるべく、全村光ファイバー網の整備、村営住宅・若者移住定住促進住宅の整備、サテライトオフィスの整備等の施策に積極

的に取り組み、具体的な成果が出てきているところであります。

昨年度は、これからの「ウィズ・コロナ社会」を見据え小川地区において、空き家等を活用したサテライトオフィス（3社分）を整備したところであり、すでに、1社は兵庫県の企業に利用いただいております。この施設は感染拡大防止と社会経済活動の両立を踏まえ、企業が地方でのテレワークを活用した移住・滞在に組み込む中、本村への新たな人の流れを創出し、移住・定住に繋げていくため整備したものであり、企業の進出、社員の移住、関係人口の創出が期待できるものでございます。

「第4次基本構想」では、「都市とのつながりを築き、移住・交流を促進し、新しい人の流れをもたらし村づくり」「安全安心で住みやすく、多様な多彩な人々がお互いを尊重しながら、心豊かに暮らせる村づくり」「森林と清流などの自然資源、深遠な歴史・文化、豊かな農林水産物等の地域資源が生かされ、村内外の多

様な人々が活動する魅力ある村づくり」を村づくりの基本理念とし、村民や村に愛着と関わりを持つ人々みなで力を合わせて村づくりに取り組み、達成する10年後の姿を、「まちからむらから人が集う木と水のふるさと」としています。

この構想を踏まえ、引き続き東吉野創生に向け、村民の皆様をはじめ若い移住者とも手を携えて、我が愛する郷土の発展のため、私が子育てした頃のような、子どもの声が村のあちこちで聞こえてくる、そんな村にすることを夢みて、たゆまぬ努力を続け、今まで以上に、村民の皆様が、安全安心で幸せを実感できる村づくりに邁進してまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症につきましましては、国内の多くの地域で感染者数が増加に転じていることや、ヨーロッパやアジアの一部の国々で感染拡大が起きている状況などから「第8波」に入りつつあるとされております。そうした中、ワクチン接種間隔が短縮され5回目のワクチン接種につきましましては、昨年12月に希望される対象者の皆様に順次接種いただいたところです。新型コロナウイルスから村民の皆様

様の生命と生活を守りつつ、経済回復に向け、引き続き感染防止対策と地域経済回復の両立に全力で取り組んでまいります。

これまで同様に皆様のご協力と、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。併せて新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に皆様のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

東吉野村議会

議長 松谷 忠則



新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、村議会に対しまして深いご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年は、議員定数が七名となつてから初めての議会議員選挙が行われ、新たな顔ぶれに変わりはや一年が過ぎようとしています。昨年の経済は、ロシアによる

ウクライナへの軍事侵攻の長期化に伴う原油、原材料、穀物等の国際価格の高騰、希少物資の供給懸念等と戦う一年だったと思います。

こうした中、政府は、医療提供体制の強化やワクチン接種の加速など経済社会回復のための環境整備を行うとともに、あらゆる政策を総動員して国民の所得や雇用を支えし、特に厳しい影響を受けた方々や事業者に対する金融措置を含む万全の支援を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の影響から国民生活を守り、ポストコロナの持続的な成長に向けた基盤整備を進めてきたところであります。

本村の目指す、普遍的な村づくりの基本理念である「都市との往来と移住を進める村づくり」「夢と希望の叶う村づくり」「学びあいうてあう村づくり」「生涯健康で笑顔あふれる村づくり」「環境にやさしい安全・安心な村づくり」「みなで取り組む協働の村づくり」と「第二期東吉野村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の四つの基本目標である「生活を支える雇用を創出する」「都市と地方のつながりを築き、移住・交流を促進し、新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・

子育ての希望をかなえる」「人が集う魅力的な地域をつくり、互いに支えあう暮らしやすい村をつくる」に沿った魅力のある村づくりを図るため、引き続き地方創生関連補助金など国の政策を有効に活用できるよう、より良い事業やサービスに転換、充たしなければなりません。

これからも、村民の皆様が安全に安心して潤いのある豊かな生活が営めるよう個性豊かで魅力ある地域をめざし、林業をはじめ地域の特性を活かした産業振興、村内での雇用の場の創出、教育、福祉、医療、防災といった諸課題の解決に向け、皆様のご理解とご協力を得ながら全力で、議員一同一丸となって精励してまいりたいと思います。

今後とも村当局と互いに協力し合い、村政発展に向け、全力を傾注いたす所存でございますので、どうか東吉野村議会に対しまして、皆様方より一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、今年一年が皆様にとって多き年でありますことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。

第5回

定例会

令和4年第5回東吉野村議会定例会が、12月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。

この議会では、職員の定年等に関する条例の一部改正ほか、一般会計補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決・承認されました。

そのあらましをお知らせします。

専決処分報告

◆令和4年度東吉野村一般会計予算を補正

令和4年度東吉野村一般会計補正予算(第3号)は、ワクチン接種体制確保事業について、本年7月、8月に実施した4回目接種の対象でなかった方のオミクロン株対応2価ワクチン接種の10月実施及び国の方針として、最終接種から5ヶ月経過後でなければ打

てなかった新型コロナウイルスを3ヶ月経過後と変更されたことに伴い、従来ワクチンの4回目接種を終えた方のオミクロン株対応2価ワクチン接種の12月実施に係る経費11,201千円、そして、令和4年度子育て世帯等臨時特別支援事業支給要領の一部が改正され、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、緊急の支援措置を講じるため、1世帯当たり5万円を支給する、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金が創設されたことから、その支給に要する経費24,476千円を補正するものです。

予算(第4号)については、コロナ禍における原油価格や物価高騰等によって影響を受

ける村民や店舗を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、村民全員に1万円分の買い物券を配布する「物価高騰村民生活応援券」に要する経費16,977千円と、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、物価高騰生活支援給付金として、1世帯当たり1万円を支給する経費、そして、村内の介護保険事業所物価高騰対策支援給付金として、介護保険事業所を支援するための経費200千円を補正するものです。

◆東吉野村行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律の規定に基づき、行政手続等に係

る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図り、村民生活向上に寄与するため、情報通信技術を利用する方法により手続等を行うために必要な事項を定めるため、所要の条例整備を行うものです。

◆東吉野村避難行動要支援者名簿に関する条例の制定

災害対策基本法の規定に基づき、避難行動要支援者に対する避難支援等を実施するための名簿の作成及び避難支援等関係者への名簿情報の提供に関し必要な事項を定めるため、所要の条例整備を行うものです。

◆東吉野村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給方法に関する条例の一部改正

◆特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

令和4年度人事院勧告に準じて所要の改正を行うものです。官民較差に基づく本年度の給与水準改定に伴い、一般職の職員の給料月額及び勤勉手当の支給率を引き上げ、議会議員及び村長はじめ常勤の特別職についても期末手当の支給率を引き上げるものです。

◆職員の定年等に関する条例の一部改正

地方公務員法の一部改正を踏まえ、職員の定年を段階的に引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢制及び定年前再任用短時間勤務制を導入するほか、60歳を超える職員に係る給与に関する特例を設ける等、所要の改正を行うものです。

◆令和4年度東吉野村一般会計予算を補正

令和4年度東吉野村一般会

計補正予算(第5号)は、2937万2千円の補正です。

主なものは次のとおりです。

・財務会計システムの改造経費 88万千円

・市町村とのまちづくり事業償還金補助金交付に伴う減債基金への積立金 159万4千円

・マイナンバーカード専用カードプリンターの保守期間満了に伴う更新経費 70万千円

・奈良県知事選挙及び県議会議員選挙経費 383万8千円

・ふるさと村、やはた温泉及びたかすみ温泉光熱水費 342万6千円

・ふるさと村、やはた温泉及びたかすみ温泉指定管理運営経費 781万千円

・国民健康保険事業費特別会計繰出金 119万2千円

・地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 1044万4千円

・老人ホーム経費 199万6千円

・介護保険特別会計繰出金 154万5千円

・簡易水道事業費特別会計繰出金 3千円

・地域おこし協力隊起業支援補助金 100万千円

・9月2日の豪雨による災害復旧経費 1310万千円

・補助金超過交付による国、県支出金返納金 71万8千円

この補正で一般会計の予算総額は、26億9843万3千円となりました。

◆令和4年度東吉野村国民健康保険事業費特別会計予算を補正

令和4年度東吉野村国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)は131万5千円の補正です。

主なものは次のとおりです。

・国保情報データベースシステムの改修に係る保守委託料 16万5千円

・財政安定化支援事業分納付金 21万6千円

・保険者支援制度分納付金 75万5千円

・補助金超過交付による国支出金返納金 17万9千円

この補正で同特別会計の予

算総額は、3億1106万1千円となりました。

◆令和4年度東吉野村簡易水道事業費特別会計予算を補正

令和4年度東吉野村簡易水道事業費特別会計補正予算(第2号)は、650万3千円の補正です。

主な内容は、次のとおりです。

・公営企業会計システム協同整備負担金 654万4千円

この補正で同特別会計の予算総額は、2億341万1千円となりました

◆令和4年度東吉野村介護保険特別会計予算を補正

令和4年度東吉野村介護保険特別会計補正予算(第2号)は、1235万5千円の補正です。

この補正で同特別会計の予算総額は、5億1152万1千円となりました。

今年、令和5年は「卯年」です。

村内の卯年生まれの方の中から新年を迎えての抱負をうかがいました。

(敬称略)



浅井和生
(木津川)

飛躍の年になるように
精進いたします。



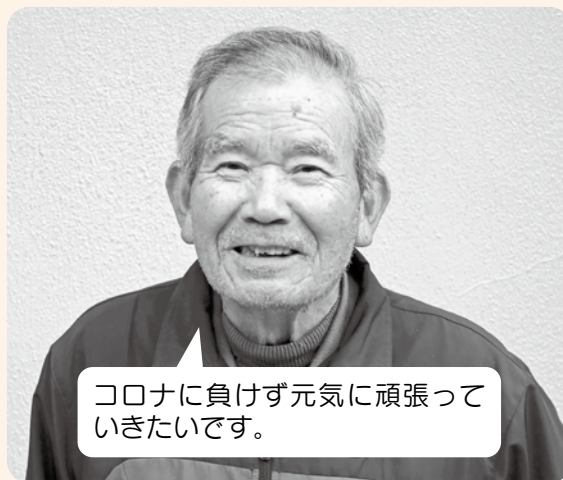
長崎大地
(小川)

靴作りの作業場と家の改装を
頑張っていきたいと思います。



梶壽
(平野)

通院をしながら頑張って
いきます。



辻武
(鷺家)

コロナに負けず元気に頑張って
いきたいです。



6年生になったらリーダー
として、みんなを引っばっ
ていきたいです。

学校生活を楽しみながら、
部活や勉強をがんばりたい
です。

中学生になったときの
ために、勉強をしたい。

藤原 陽菜 (木津)

上辻 綾乃 (鷺家)

清須 壮 (鷺家)

2023年卯年生まれ大集合



西垣 徹 (小)

来年も仕事を頑張りたいです。



樋口理菜 (小川)

ゆとりをもって子育てをしたいと思います。



河野 環 (大豆生)

百歳体操と水平思考で飛び跳ねます。



鍵谷典秀 (小川)

平穏無事に暮らせるよう願うばかりです。



6年生になって、低学年をひっぱることと、勉強をがんばりたいです。

6年生なので、なんでもこつこつとがんばりたいです。みんなのことをひっぱっていききたいです。

みんなのことをひっぱって、楽しく、思い出いっぱいの学校生活をおくりたいです。

大面 芭奈 (鷺家) 木原 小乃華 (小) 大谷 流風 (小栗栖)

第18回東小フェスティバル

11月23日、村住民ホールで第18回東小フェスティバルが開催されました。

はじめに生徒代表で6年生の上辻綾乃さんが挨拶をし、その後3・4年、1・2年、5・6年生の順に学習発表会が行われました。

3・4年生は、「ホンマかいなTV（東吉野の吉野杉が素敵すぎて困る!）」と題して、実在する番組をアレンジして、ユーモアを交えながらわかりやすく吉野杉を紹介しました。

1・2年生は、「1・2年生の せっかくグルメ」と題して、実在する番組を参考に東吉野のグルメを紹介し、実際に飲食店取材することで、説得力のある内容になりました。

5・6年生は、「朝まで生テレビ!」という実在する番組をモチーフに、インターネットの普及をテーマに討論を繰り広げていました。

児童たちが仲間と相談して作り、日々練習を重ねた発表会は無事に終えることができました。



3・4年生
ホンマかいなTV（東吉野の吉野杉が素敵すぎて困る!）



1・2年生
1・2年生の せっかくグルメ



5・6年生
朝まで生テレビ!～#インターネットの普及により世の中はよりよい方向へ進んでいるのか

ボッチャ（Boccia）

12月3日、村住民ホールで、村体育協会主催のレクリエーション、ボッチャ（Boccia）を初めて行いました。

ボッチャ（Boccia）とは、気軽に誰にでも楽しめるパラリンピックの正式競技です。ボールを的に近づけるといいうシンプルなルールですが、戦術やテクニクが奥深い競技です。

参加された皆さんは、初めて体験する競技のため、ルールやマナーを講師に確認しながら、競技を楽しまれました。



赤い羽根共同募金

12月19日、東吉野中学校で14,371円、22日に東吉野小学校で2,179円それぞれ集まった赤い羽根共同募金を「福祉活動に役立ててください」と、奈良県共同募金会東吉野村支会河野会長に手渡されました。



河野会長に募金を手渡す中学生



河野会長に募金を手渡す小学生

歳末助け合い募金

12月14日、老人クラブ連合会の各支部からクラブ会員に呼びかけて行っている歳末助け合い募金が、役場に持ち寄られました。募金の総額は95,172円でした。

この募金は、村内の介護保険要介護度4、5に認定された在宅介護高齢者の方々のために役立てられます。



持ち寄られた歳末助け合い募金



老人クラブ連合会（各支部長の皆さん）

東吉野小学校に交通安全啓発物品を寄贈

12月6日、村交通安全母の会より東吉野小学校へ交通安全啓発物品が寄贈されました。この啓発物品は、登下校時はもちろん、学校以外での生活においても交通ルールを守り安全・安心な日常を送れるようにとの願いを込めて手渡され、後日、全校児童一人一人に物品の配布と共に交通安全の啓発が行われました。

これを機会に自転車を利用する方が、自転車安全利用五則 1. 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先 2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 3. 夜間はライトを点灯 4. 飲酒運転は禁止 5. ヘルメットを着用 以上の5つを確認し、安全に利用されると共に、年始にあたり今年一度、一人一人が交通事故の防止を意識して交通事故の無い一年にしましょう。



東吉野小学校 マラソン大会

12月8日、東吉野小学校のマラソン大会が実施されました。
大字小川出合橋からスタートし、低、中、高学年に分かれてそれぞれ学年毎に決められた距離を走りました。

児童たちは、寒さの中、一所懸命に走り、息が苦しくなっても仲間たちや保護者、先生方の声援を力に変えて、最後まで諦めずに完走しました。



人権啓発パトロール

12月9日、人権週間（12月4日から10日）に伴い、人権擁護委員会による人権啓発パトロールが実施されました。

村内のこども園や小・中学校、郵便局や温泉などの施設に啓発物品（マスク、抗菌マスクケース、卓上カレンダーなど）を配布し、人権の尊重を呼びかけました。

また、同日の午後からは中央公民館に人権特設相談所が設けられ、人権相談が行われました。

